

ポール・クローデル作 「縋子の靴」・・・3日目

141005 141220

幕	場	場面	内容	頁	主な登場人物				見どころ		
3日目 151頁	1	プラハの聖ニコラ・ストラナ教会	聖人達が、神にお祈りをしている。ミュージックは、妊娠した喜びを、神へ伝えている。これから出生するこの男の子は、後年、ロドリッグの育ての娘セテペと親しくなる。	17				ミュージック	聖人達		
	2	アメリカで活躍するロドリッグ	パナマの海の上。北緯10度、西経30度の地点	ドン・フェルナンは、たまたま入手したブルエーズからの手紙を、ロドリッグに、届けに行く途上にある。フェルナンの妹のイザベルは、ロドリッグに信頼の厚い第一の家臣ドン・ラミールと結婚するという。また、ロドリッグは、パナマ運河開発をも計画しているという。	18				オーギュスト	フェルナン	
	3	ベネズエラのオレノコ川の河口	アメリカ副王のロドリッグが、オレノコ河口を望む海上で、アルマグロと雑談している。アルマグロは、「征服者」から「入植者」に転身したいという。	9	ロドリッグ					アルマグロ	
	4	モガドールの要塞の巡回路	兵士達が、ブルエーズは、夫ペラージュが死んだために、身を守るためにカミーユと結婚したらしい、と噂話をしている。	2						カミーユとの結婚	
	5	パナマ。中央に小さなパルコニー	旅籠屋の女将が、「ロドリッグ宛のブルエーズからの手紙」について、ドン・レオポルド・オーギュストと雑談している。	3				オーギュスト	女将		
	6	ブルエーズからの手紙を入手したロドリッグ	パナマのロドリッグの宮殿の一室	ラミールは、妻のイザベルに、ロドリッグの信頼を失った、と嘆いている。原因は、メキシコの支配権について、弱気なラミールが妻から発言させたため。イザベルの兄のフェルナンが持っているはずの、「ロドリッグ宛のブルエーズからの手紙」をイザベルが、偶然手に入れる。	6			イザベル	ラミール		
	7	モガドール。大西洋に面した砂の上の天幕	カミーユが、ブルエーズがなくなったという数珠の珠を見つけ持ってくるが、結婚して妻となったブルエーズは寝ている。	2			カミーユ			侍女	
	8		睡眠中のブルエーズは、夢の中で夢想し、守護天使も登場する。そこで、ロドリッグに永遠の別れを告げ、死を望み、天上の世界でロドリッグと再会することを望む。	28			ブルエーズ			守護天使	ブルエーズの夢想
	9	パナマのロドリッグの宮殿の一室	イザベルが手に入れた「ロドリッグ宛のブルエーズからの手紙」を、ロドリッグはイザベルから貰う手が震えている。十年越しであった。	10	ロドリッグ			イザベル		秘書官	手紙を入手
	10	モガドール。砂の上の天幕絨毯敷である	ブルエーズは、夫の死後モガドールを守るためにカミーユと結婚し、娘を一人もうけた。カミーユは、スペイン国王がモガドールを放棄したので、イスラム教に改宗し、オキアリと名乗り、ブルエーズと一緒にモガドールに残っている。カミーユは、ブルエーズに、「ペラージュが死んだ時に、絶望の余りロドリッグに救いを求めて書いた手紙」が、十年経過したいまロドリッグの元に届き、会いに来る、と伝える。	22			ブルエーズ	カミーユ			
	11	ブルエーズに会いに行くロドリッグ	メキシコ湾のダリエン沖のスペイン艦隊	ロドリッグは、ブルエーズからの手紙を読み、アメリカの副王の地位を捨て、スペイン艦隊を率いて大西洋を渡る事にした。ロドリッグは、反対するラミール下船させる。イザベルに対しても冷たい別れ方をする。	7	ロドリッグ			イザベル	ラミール	ロデュール
	12		モガドール沖のスペイン艦隊	ロドリッグは、到着して二週間海上に停泊したままであった。そこに港から白旗が揚がり、船が一人の女と一人の子供を乗せ、向かってくる。カミーユは、ブルエーズと娘を使者として送ったのである。	4	ロドリッグ					艦長
	13		モガドール沖のスペイン艦隊	ロドリッグは、ブルエーズに、「侵略しにきたのではなく、手紙を読んだから来た。」と言う。ブルエーズは、「十年後じゃ遅すぎる。」といい、「ペラージュの死後モガドールを守るのが大変なので、カミーユと結婚した。」と言い訳する。ブルエーズは、ロドリッグに、「永遠の愛はこの世で結ばれてはいけない。」といい、自分を解放するには死しなく、思い出に「私の娘を差し上げる。」と言い、「一言言ってくれたら、あなたの元に残る」とも言うが、ロドリッグは黙って泣くだけである。ブルエーズは、娘をおいて要塞に戻り、予告通り、カミーユと要塞と共に、爆死する。	23	ロドリッグ					

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。